

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	メディア論		
英文授業科目名	Media Theories		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	原 和之		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kzykhar@netscape.net	<a href="http://sinkdeep.main.jp/">http://sinkdeep.main.jp/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>「メディアとその技術的基盤は、人間にとって単なる道具ではなく、そもそも人間のあり方に深い影響を与えている」、とする考え方があります。授業では、この考え方がそもそも登場するに至った背景とその展開を概説します。最終的には、こうした考え方に関する文献・資料を広く調査し、自分の問題を立てて、それを一定のフォーマットで論述する仕方を身につけることが目標となります。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
西洋史に関する知識がある程度あることが望ましい。

<b>【教科書等】</b>
上記ホームページに参考文献の一覧を示す。

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

講義形式で行う。メディア史上の基本的知識を習得すること、およびメディア史上のさまざまな出来事を位置づけ意味づけるさまざまな仕方を学ぶこと、この二つが主要な作業となる。授業で取り上げるトピックは以下の通り。

- 1 コミュニケーション・メディア・リアル ---メディア論の基本構制---
- 2 コミュニケーションの理想とその動揺 ---言語をめぐる転回---
- 3 「弱い」メディア論・「強い」メディア論
- 4 メディア論の原型 ベンヤミンと写真
- 5 断層の標定 マクルーハンのメディア論(1)
- 6 断層の標定 マクルーハンのメディア論(2)
- 7 実現した「モザイク」 ハイパーテキストの系譜
- 8 時間と記憶 メディアとしてのコンピュータ
- 9 リアルの再編 貨幣・言語平行論
- 10 リアルの変質 戦争とメディア
- 11 リアルの基層 「他者の発明」
- 12 共有なきコミュニケーションの方へ

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

ブックレポート(3割)および論述式の期末試験(7割)

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】